

科学研究費助成事業 研究成果公開促進費 国際情報発信強化（平成25年度採択分）  
「園芸科学領域の国際リーディングジャーナルをめざす国際情報発信力強化」  
（課題番号：252026）

学術団体名：一般社団法人 園芸学会  
学術刊行物の名称：The Horticulture Journal  
事業期間：平成25年度～平成29年度

## 1 取組の概要

### ・取組内容の特徴と目的、意義及び方法

これまでJournal of the Japanese Society for Horticultural Science (平成27年度よりThe Horticulture Journalに誌名変更)は申請時までに100%英文誌化と、J-STAGEにおけるオープンアクセス化を既の実施してきた。インターネットの普及により論文の収集・管理はほぼウェブベースとなった現在において、国際的な情報発信力を強化するためには、世界的なデータベースに登録し、キーワード検索にかかり、関連論文あるいは引用論文として表示されることが鍵となっている。本誌はJ-STAGEをプラットフォームに電子媒体での情報発信に取り組んでいるが、J-STAGEに軸足をおきつつも新たなデータベース(PubHortやPubMed Central (PMC))への登録を目指し、論文への多様なアクセス経路を確保するのが本取組みの特徴の一つである。

### ・応募時に設定した取組の目標・評価指標

本申請における取組みでは、まず国際園芸学会(ISHS)との連携を深め、ISHS提供のPubHortデータベースへの登録やISHS会員へのTable of Contentsの配信などを実現させることにより、国際的な地位の向上を図る。同時にPMCへの登録を目標に、そのために必須の論文のHTML化(XML化)を早期に行い、園芸分野では世界初となるPMCへの登録を目指す。さらに国内外の研究者にとってより魅力的なジャーナルとなるべく、電子ジャーナルの充実(論文投稿から出版までの完全オンライン化、論文の早期公開、オンライン版カラーの無料化など)や、Table of Contents配信やSNSを利用した出版・公開情報の積極的発信、海外研究者からの投稿促進(掲載料、英文校閲料の免除)など、多岐にわたる取組みを実施し、園芸科学分野におけるリーディングジャーナルとしての地位の確立を目指す。

評価指標として、インパクトファクター(0.9→2.0)、掲載論文へのアクセス数(12,000→24,000)、PDFダウンロード数(6,000→12,000)、投稿数(70→100)、外国人編集委員数(25%→35%)、外国人レフェリー割合(5%→10%)を掲げた。

## 2 目標の達成状況

### ・現在までの目標の達成状況

これまでに、国際園芸学会(ISHS)との連携を強化し、国際園芸学会が持つデータベースPubHortにJSHSの論文情報を2007年発行の76巻から登載させるようになった。次に本誌のTable of Contentsの配信体制を整え、希望者への配信を開始した。さらに論文の公開情報発信については当初の想定以上に進展し、園芸学会のSNS(Facebook, Twitter)においても配信を開始した。電子媒体の早期公開、カラー化については初年度より実現した。園芸学会のWEBページも全面改訂し、特に英語版HPを充実させたことにより、海外からの読者・投稿者に対して、適切に情報を提供できるようにした。投稿論文の採択後原稿についても、ProDxion Managerを使用することにより、審査から論文公開までシームレスにオンラインで行うことができるようになった。海外からの投稿者に対する英文校閲料・掲載料の免除については初年度より継続して行っている。外国人編集委員を2015年度より8名増強した。

以上の取組みにより、2014年度の掲載論文のアクセス数(22,276)、論文PDFダウンロード数(24,703(※))、外国人編集委員数(42.1%)などでは、目標値を達成あるいはそれに近い値となっている。(※)月別集計で一月だけ明らかな外れ値(36,195)が見られたので、この値を除いて集計した。

### ・今後の計画

計画時に設定した各取組みについて順調に実行・達成できている状況である。今後未達のものについて精力的に取り組む。特に初年度申請したものの不採択であったPMCの登録は是非実現させたいと考えている。本学会からのTable of Contentsの配信開始や、FacebookおよびTwitterといったSNSを利用した情報発信基盤が整ったことにより、さらに他学会との協議を進め、これらの発信基盤を利用した相互配信による情報発信強化を行う。これらの活動により、当初設定した目標の達成を目指している。